

第 54 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 プログラム一覧

会長講演

No.	タイトル	日時	会場	講師
1	脊柱側弯症そして脊椎・脊髄疾患治療に対する私の哲学	17日 13:30～14:00	1	高相 晶士

文化講演

No.	タイトル	日時	会場	講師
1	野球と私	17日 14:05～15:05	1	原 辰徳

特別講演

No.	タイトル	日時	会場	講師
1	ニュートンのリンゴ、マブチのバナナ Staurosporine と Avermectin	17日 15:15～16:35	1	馬淵 清資 大村 智

教育研修講演

No.	タイトル	日時	会場	講師	単位 種別	N 必須 分野	認定番号 25-0146
1	神経筋性脊柱側弯症治療の実際	17日 11:00～12:00	1	宮城 正行	N, SS	3, 8	004
2	骨粗鬆症の診断と治療のピットフォール			齋藤 琢	N, R	4, 7	001
3	臨床研究法と倫理指針について 新医療機器の薬事承認 —PMDA の立場から—			飯村 康夫 藤澤 大輔	N	14-5	020
4	後縦靭帯骨化症の病態・診断・治療 —OPLL 研究班の成果を総括する—	18日 9:10～10:10	2	山崎 正志	N, SS	4, 7	027
5	現場主導のリハビリテーション機器の開発と実装まで			竹林 崇	N, SS	7, 13	031
6	腰椎椎間板ヘルニアの疫学、病態、診断、治療、予後、最新知見	18日 11:30～12:30	3	波呂 浩孝	N, SS	7	032
7	大学病院における働き方改革 —教育・研究・経営両立の3重苦を抱えながら— 国立病院機構における働き方改革への取り組み			大島 精司 新木 一弘	N	14-5	049
8	脊椎脊髄外科に必要な医療安全 医療訴訟の現状 —医療安全の観点からの考察—	19日 9:10～10:10	1	内山 勝文 三枝 恵真	N	14-5	053
9	脊椎疾患と遺伝子・ゲノム			11:30～12:30	2	谷口 優樹	N, SS

海外招請講演

No.	タイトル	日時	会場	講師	単位 種別	N 必須 分野	認定番号 25-0146	
1	Lumbar degenerative deformity: Biomechanics and impact of lumbar lordosis restoration Management Challenges and Surgical Outcomes of Cervical Spine Injuries in Patients with Spinal Ankylosing Disorders: Clinical Experience and Treatment Strategy	17日 9:50～10:50	5	Dominique Rothenfluh	N, SS	2, 8	002	
				Wen-Tien Wu				
2	Adolescent Idiopathic Scoliosis Update: 2025	17日 11:00～12:00	5	Peter O. Newton	N, SS	3, 7	003	
3	Motion Preservation Spine Surgery: Overlooked Concepts of Cervical Artificial Disc Replacement (C-ADR) Master of Minimally Invasive Spine Surgery and Advances in Endoscopic Spine Surgery			16:40～17:40	Dennis Hey	N, SS	7, 8	021
					Wongthawat Liawrungruang			
4	Surgical Management for Severe Idiopathic Scoliosis (≥ 90 Degrees): Evaluating Current Options and Our Preferred Methods for Optimal Results The Impact of Scoliosis Surgery on Pulmonary and Motor Functions in Children with Spinal Muscular Atrophy	17:40～18:40	5	Mun-Keong Kwan	N, SS	3, 7	022	
				Kuan-Wen Wu				
5	One-Stage Surgery Combining Anterior and Posterior Approaches with Fixed Lateral Decubitus Position for Patients with Thoracic and Lumbar Spinal Tuberculosis The Use of Basic Imaging to Improve Spine Surgical Treatment	18日 9:10～10:10	5	Vo Van Thanh	N, SS	6, 7	028	
				Chee-Kidd Chiu				

No.	タイトル	日時	会場	講師	単位 種別	N 必須 分野	認定番号 25-0146
6	Alar Iliac Screw Vs S1 Alar Screw for Lumbosacral Tuberculosis Fixation	10:20～11:20		Primadenny Ariesa Airlangga	N, SS	7.11	029
	The Decision of Surgical Strategies for Severe Dynamic Sagittal Imbalance: Approach, Surgical sequence, Osteotomy, Iliac fixation			Yong-Chan Kim			
7	Reoperation for Failure of Cervical Disc Arthroplasty at Index and Adjacent Levels	11:30～12:30	18 日	Jong-Beom Park	N, SS	7.8	030
	How to manage growing spine scoliosis deformity?			Gabriel Liu			
8	Can we Predict the Development of Musculoskeletal Pain and the Chronic Pain after Surgery ?	16:50～17:50		Lars Arendt-Nielsen	N, SS	1.7	050
	Role of Magnetic Resonance Spectroscopy as Biomarker in Predicting Early Cervical Myelopathy			Ajoy Prasad Shetty			

指導医イブニングセミナー

No.	タイトル	日時	会場	講師	単位 種別	N 必須 分野	認定番号 25-0146
1	医療事故調査・支援センターの活動経験について	18 日	18:30～19:30	大川 淳	N, SS	7	051
	指導医の立場から見た頸椎椎弓形成術 —教育と合併症対策—			根尾 昌志			

APSS-Eurospine-JSSR 合同シンポジウム

No.	セッションテーマ	タイトル	日時	会場	講師
1	What's new in Euro-Asian Spine Community	The Birth of 360° Motion-preservation in Treating Degenerative Spinal Disease	18 日	15:05～16:45	Dennis Hey
		Minimal invasive surgical strategies for reduction and fixation of thoracolumbar fractures			Chee-Kid Chiu
		Endoscopic Spine Surgery: Where Are We Now?			Wongthawat Liawrungrueang
		Does the Cervicothoracic OPLL represent a unique Clinico-radiological Variant?			Ajoy Prasad Shetty
		X-ALIF in adult deformity surgery			Dominique Rothenfluh
		Innovative Advancements in Japanese Spine Care: Emerging Trends and the Road Ahead			Shinji Takahashi

ビデオシンポジウム

No.	セッションテーマ	タイトル	日時	会場	講師
1	合併症の回避と対処	脊柱変形手術における神経合併症対策	18 日	15:05～16:35	大和 雄
		成人脊柱変形手術における重篤な内臓合併症 —急性腹腔動脈圧迫症候群の予防と対策—			小谷 俊明
		脊椎内視鏡手術における術中合併症			大鳥 亨
		脊椎腫瘍手術における合併症の回避と対応			加藤 仁志
		難治性脊椎・脊髄疾患における手術合併症回避のための止血対策			中島 宏彰
2	高難度度手術	頸椎 OPLL に対する Anterior Controllable Antedisplacement and Fusion	19 日	11:00～12:30	大槻 文悟
		椎骨動脈の剥離操作を要した高難度頸椎ダンベル腫瘍の摘出手術			西田 康太郎
		高度脊柱変形症例に対する椎体骨切り術のポイント —VCR を中心として—			金子 慎二郎
		難治性腰椎カーブに対する挑戦 —前方固定術が目指す治療とは—			稲見 聡
		高難度手術の歩き方 —Patient safety is our priority—			筑田 博隆

シンポジウム

No.	セッションテーマ	タイトル	日時	会場	講師
1	Robotic surgery	ロボット支援脊椎手術の精度向上を目指した Shift and Skive 対策	17 日	8:40～10:10	赤澤 努
		半自動脊椎手術支援ロボットの特徴と有用性 —多岐にわたる適応から精度向上を目指した新たな対策まで—			石原 昌幸
		脊椎手術支援ロボット ExcelsiusGPS の現状と各種病態への応用			牧野 紘士
		脊椎手術支援ロボットの機能と課題			山下 一太
		低線量ハイブリッド手術室でのロボット支援下側弯症手術			高橋 淳

No.	セッションテーマ	タイトル	日時	会場	講師	
2	脊椎領域におけるAI	AIが導く脊椎脊髄診療の新時代 ―深層学習・機械学習・言語モデルの応用―	17日	16:40～18:10	2	牧 聡
		脊椎疾患領域における人工知能アルゴリズムの開発				小甲 晃史
		人工知能を用いた側弯症手術のサポートツールの開発				渡辺 航太
		脊椎分野における AI の活用				藤森 孝人
		頸椎疾患領域における AI の進捗と実装への課題				玉井 孝司
3	小児脊柱変形手術の工夫	AIS 手術における ST2R 法の進化と Dual Coplanar 矯正技術の展開	18日	9:10～10:40	1	酒井 大輔
		思春期特発性側弯症に対する Dual Rod Translation 法を用いた Selective Thoracic Fusion ―胸椎後弯形成に注目して―				松村 昭
		神経筋性脊柱側弯症手術の工夫				宮城 正行
		早期発症側弯症手術における工夫 ―介入時期とゴールを踏まえて―				鈴木 哲平
		肋骨異常を伴った先天性側弯症に対する手術				渡辺 航太
4	脊椎ビッグデータ(レジストリー)	JOANR と専門学会レジストリーの利活用	18日	15:05～16:05	2	金村 徳相
		2023 年度 JSSR-DB を用いた日本における脊椎脊髄手術の全国合併症調査と今後の展望				有馬 秀幸
		JNIS-DB 日本脊椎インストゥルメンテーション学会データベース				上田 明希
		脊柱靱帯骨化症レジストリー症例登録の現状と今後の展望				高橋 宏
		早期発症側弯症データベース (EOS-DB) の現状と今後の展望				井上 玄
5	新規画像技術を用いた脊椎手術・今後の展開	ハイブリッド手術室における AR ナビゲーションシステムを用いた椎弓根スクリーンの刺入精度	18日	16:50～18:20	2	船尾 陽生
		術中3DC アーム画像とMRI 画像をマージした顕微鏡 AR ナビゲーション脊椎脊髄手術について				藤原 靖
		脊椎手術におけるXR 導入 ―AppleVisionPro による臨床課題への対応―				成田 渉
		ロボティックアームハイブリッド手術室におけるXR を併用した脊椎外科手術				篠原 光
		XR 医療応用の停滞と社会実装の壁 ―技術革新を臨床へと繋ぐ戦略―				安倍 雄一郎

スポンサードシンポジウム

No.	セッションテーマ	タイトル	日時	会場	講師	
1	高齢者脊椎手術におけるBone Health Optimization	高齢化社会における骨粗鬆症患者への脊椎固定術の最新戦略	18日	10:50～12:20	1	猪瀬 弘之
		HU 値およびVBQを用いた骨粗鬆症スクリーニングの有用性				高橋 真治
		成人脊柱変形矯正手術におけるhounsfield unit値の信頼性				石原 昌幸
		脊椎全長X線画像から測定したCBR-7を用いた骨粗鬆症予測の機械学習モデルの検証				檜山 明彦
		脊椎固定術周術期での骨粗鬆症治療を考える				大場 哲郎
2	UBE 導入初期の経験・過去の私へのアドバイスと今後の展望	UBE 手術の導入と実践 ―初期症例から得られた私の学び―	18日	9:10～10:40	3	檜山 明彦
		なぜ今 FESS ではなく UBE をはじめたのか?? ―今から UBE を始めたい脊椎外科医へ向けて―				石原 昌幸
		脊椎内視鏡手術未経験医による UBE 導入初期の歩み ―自分の価値観の反対側から見たもの―				松川 啓太郎
		MED と FESS を経験した立場から考える UBE のメリット				瀬川 知秀

ディベート

No.	セッションテーマ	タイトル	日時	会場	講師	
1	ASD に対する long fusion vs short fusion	成人脊柱変形に対する short fusion ―適応と注意点―	17日	17:40～18:40	1	森平 泰
		成人脊柱変形に対する手術治療 long fusion の立場から				福田 健太郎
2	頸椎変性疾患に対する手術法(変形を除く)前方 vs 後方	頸椎変性疾患に対する前方法の優位性	17日	9:50～10:50	2	吉井 俊貴
		頸椎変性疾患に対する手術法 ―後方手術の優位性―				宮本 裕史
3	脊柱変形手術 open 法 vs MIS 法	成人期以降の脊柱変形 (ASD) 手術は OPEN 法でさえいまだ確立されていない	18日	10:20～11:20	2	長谷川 和宏
		私が MIS 法を行う理由				原田 智久

学会主導セッション

No.	セッションテーマ	タイトル	日時	会場	講師
1	プロジェクト委員会・新技術評価検証委員会企画	腰痛がりに対する運動療法のエビデンス創出に関する研究第3報 —JSSR プロジェクト研究—	18日	1	寺井 秀富
		頸椎由来の頸肩腕症状に対する薬物治療の臨床経済研究 —サブ解析結果—			若尾 典充
		腰部脊柱管狭窄症に対する固定術における骨癒合状態が臨床成績に与える影響			西田 周泰
		すべり・不安定性を有する頸椎性椎間板症に対する後方除圧術単独と後方除圧固定術の比較検討			粕川 雄司
		頸椎人工椎間板手術導入からハイブリッド手術まで			吉井 俊貴
		経仙骨的脊柱管形成術 (Trans-sacral Canal Plasty) を安全に普及するための試み —日本脊椎神経学会 TSCP ワーキンググループと適正使用指針—			中西 一夫
		本邦への導入に向けた仙腸関節固定デバイスの現状と今後の展望			井上 玄
2	データベース委員会企画：JSSR-DBより創出するリアルワールドエビデンス・レジストリー研究	整形外科領域におけるリアルワールドデータ研究 —現状と展望—	16:50～18:10	3	康永 秀生
		リアルワールド・データベースを活用した介入研究のエミュレーション			篠崎 智大
		いよいよ始まる JSSR-DB からのアウトプット Real World Evidence へ			有馬 幸幸
		リアルワールドデータを用いた JSSR-DB リスクカリキュレーターの開発と展望			池上 章太
		データ収集から解析まで —JSSR-DB における AI 活用の展望と私見—			牧 聡

JSSR 関連 Award セッション

No.	セッションテーマ	タイトル	日時	会場	講師
1	第37回日本脊椎神経学会奨励賞(大正 Award) 基礎部門	Nanoclay gels attenuate BMP2-associated inflammation and promote chondrogenesis to enhance BMP2-spinal fusion	17日	16:40～17:40	古市 拓也
		第37回日本脊椎神経学会奨励賞(大正 Award) 臨床部門			
	日本脊椎神経病学会優秀論文賞	腰仙椎固定術が術後の日常生活 (ADL) に及ぼす影響—固定椎間数と脊椎不撓性 ADL 指数—			谷 陽一
		頸椎前方手術後の椎体前面軟部組織腫脹 (PSTS) の経過予測に拔管直後の評価が有用である —抜管前 PSTS と抜管直後 PSTS での比較—			松本 富哉
	Spine Surgery and Related Research (SSRR) The Best Paper Award	成人脊柱変形に対する circumferential minimally invasive surgery における術後 PI-LL < 10° 達成条件は LLIF 後 PI-LL < 20° である			石原 昌幸
		Ten-Year Clinical Outcomes of Endoscope-Assisted Minimally Invasive Surgical Decompression for Lumbar Spinal Stenosis with Degenerative Spondylolisthesis and Comparison with Conservative Treatment			南部 浩史
	Awake Early Manual Reduction Is Highly Effective for Subaxial Cervical Spine Dislocation	田岡 拓也			
	Adoption of an Enhanced Recovery after Surgery Protocol for Neuromuscular Scoliosis Shortens Length of Hospital Stay	中村 直行			

ランチョンセミナー

No.	タイトル	日時	会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号	
1	思春期特発性側弯症の保存療法と Shilla 手術 —エビデンスに基づく経過観察、装具治療と Shilla 手術の現状—	17日	12:15～13:15	1	小谷 俊明	N, SS	3, 7	005
2	脊髄損傷に対する新たなアプローチ —細胞治療という選択肢—			2	佐々木 祐典	N, SS	2, 7	006
	施設間連携からみる脊髄損傷再生医療				緒方 徹			
3	骨粗鬆症性脊椎疾患に対するセメント注入型 Fenestrated pedicle screw の挑戦と課題			3	中道 清広	N, SS	4, 7	007
	Mechanical failure を起こさない腰椎椎体間固定術 —術式選択と手技の工夫—				野尻 英俊			

No.	タイトル	日時	会場	講師	単位 種別	N 必須 分野	認定番号 25-0146	
4	更なる健康寿命延伸を目指した今後の腰椎変性疾患治療と脊椎外科診療を考える	17日	12:15～13:15	4	鈴木 悟士	N, SS	7	008
5	さまざまな脊椎疾患例の手術治療プラン、皆さんならどう考えますか？			5	清水 敬親	N, SS	7	009
6	脊椎外科医の新たな治療選択肢としての脊椎刺激療法			6	加藤 裕幸	N, SS	7	010
7	Laterals Transposas Approach (LTP) の現状と課題			7	大場 哲郎	N, SS	7	011
8	Safety and efficacy of the Prone Transposas Technique (PTP): A prospective cohort of clinical and radiographic outcomes, inclusive of low BMI patients			7	Yi Yuen (Ian) Wang			
9	脊椎脊髄外科における体内異物残留によるトラブル、サルベージ、予防 一伏兵に襲われないために知っておくべき事項一			9	宮本 敬	N, SS	7	012
9	腰椎内視鏡手術がスタンダードになるために 一UBEができること一			1	吉水 隆貴	N, SS	7	033
10	日常診療に役立つ骨粗鬆症性椎体骨折の治療戦略 一椎体形成術で対応できる場合できない場合一			2	高橋 真治	N, SS	2, 4	034
10	さまざまな MIS 手技を駆使した骨粗鬆症性椎体骨折に対する治療方針 一できるだけショートに、できるだけ低侵襲に一			2	原田 智久			
11	成人脊柱変形に対する各種手術手技の適応と実際 一病態に基づいた手術アプローチ一	3	竹本 充	N, SS	4, 7	035		
11	高齢者脊柱変形に対する最小侵襲脊椎治療 一Fenestrated PPS システムから ATP アプローチによる LIF まで一	3	篠原 光					
12	成人期特発性側弯症をどう治療するか 一病態から手術戦略まで一	4	松村 昭	N, SS	7	036		
13	椎間板内酵素注入療法の現在地 一本学での開発から臨床応用まで一	5	中島 宏彰	N, SS	1, 7	037		
14	患者適合型 3D ペディクルスクリューガイドとナビゲーションを併用した思春期側弯症手術手技の実際	6	田上 敦士	N, SS	7	038		
14	患者適合型ペディクルスクリューガイド及びロッドプランニングアプリケーションの使用経験とその有用性	6	椎名 逸雄					
15	脊椎外科医のための生成 AI 活用術 一最新ツールと実践テクニック一	7	牧 聡	N	14-5	039		
15	外科系医師のノンコア業務の効率化 (マルチモーダル生成 AI の活用ふくめて)	7	大谷 隼一					
16	脊柱変形矯正固定術における術中モバイル CT とナビゲーションの有用性	9	大谷 和之	N, SS	2, 7	040		
17	がんロコモにおける神経障害性疼痛の重要性 一腫瘍整形外科学的集学的マネジメントの観点から一	1	秋山 達	N, SS	5, 7	041		
18	骨老化研究が切り拓く運動器疾患治療の新時代	2	海渡 貴司	N, SS	1, 4	042		
19	骨粗鬆症性椎体骨折に対する Fenestrated screw を用いた治療の有用性と安全に使用するための Tips & Tricks	3	高橋 真治	N, R	4, 7	043		
19	骨粗鬆症性椎体骨折に対する手術治療 一より良い手技の選択を目指して一	3	福田 健太郎					
20	超低侵襲脊椎治療の未来 一経仙骨的脊柱管形成術 (TSCP) の可能性と限界を探る “どこまで使える？ゲームチェンジャーとなるか？” 一	4	横須賀 公章	N, SS	7	044		
21	Full-endoscopic spine surgery: FESS の応用 一AFESS と KLIF に使用して一	5	尾原 裕康	N, SS	7	045		
21	進化する Trans-Kambin 脊椎内視鏡手術 一いかに修得するのか？一	5	西良 浩一					
22	髄膜異常を伴う脳脊髄モジデリン沈着症と上肢筋萎縮症 一脊椎外科医が知っておくべきこと一	6	吉井 俊貴	N, SS	7, 8	046		
23	CIARTIC Move 一自走式モバイル 3D C アーム装置の使用経験一	7	鈴木 勝	N, SS	7	047		
23	ハイリッド脊椎手術室 35692 本、ロボット使用椎骨スクリュー 4731 本挿入 脊柱側弯症手術 一前方・後方一	7	江原 宗平					
24	次世代パワーツールを用いた椎弓根スクリュー挿入のメリットについて	9	石原 慎一	N, SS	7	048		

アフタヌーンセミナー

No.	タイトル	日時	会場	講師	単位 種別	N 必須 分野	認定番号 25-0146	
1	最新の SSI 予防と整形外科感染症コンサルティング	17日	15:15～16:15	山田 浩司	N, SS	6	013	
	きずのきれいな治し方 一創部管理の理論とベストプラクティスー			小川 令				
2	ナビゲーションを用いた首下がり症候群に対する手術のコツとピットフォール			3	宮本 裕史	N, SS	7	014
	新しい頸椎インプラントシステムの開発とロボット手術				根尾 昌志			
3	FED 手術の安全導入に向けた心がけと実践 一血腫・硬膜損傷ゼロを目指してー			4	金子 剛士	N, SS	7	015
	今知りたい脊椎全内視鏡下除圧術の特性とコツ ーバイポータル脊椎内視鏡手術, AFESSー				金山 完哲			
4	内視鏡による脊椎手術のパラダイムシフト ー止血操作のコツを含めー			5	小野 孝一郎	N, SS	7	016
	脊柱変形手術における出血対策				宮崎 正志			
5	頸椎症性神経根症の高位診断の進歩がもたらす優位性			6	石原 慎一	N, SS	7	017
	脳神経外科医が行う頸椎変性疾患に対する手術選択の現状と、若手脊椎外科医に伝えたい拡大椎弓形成術のコツ	青山 正寛						
6	成人脊柱変形矯正手術におけるマルチアンカリングの重要性 ー多彩な変形球探れますか？ー	7	渡邊 慶	N, SS	7	018		
7	頸椎症性脊髄症術後と腰部脊柱管狭窄症術後の心理側面的 QOL の改善 ー鍵は「社会生活機能」と「腰痛」ー	9	玉井 孝司	N, SS	7	019		
	同種骨移植で広がる脊椎手術の選択肢 ー適正な運営を含めてー		井上 玄					

モーニングセミナー

No.	タイトル	日時	会場	講師	単位 種別	N 必須 分野	認定番号 25-0146	
1	Full endoscopic spinal surgery under the water ー水を味方にー	18日	8:00～9:00	西村 泰彦	N, SS	7	023	
2	PETLIF システムを用いた TF-LIF (Transforaminal approach lumbar interbody fusion)ーいち臨床家のアイデアが形になるまでー			6	長濱 賢	N, SS	7	024
3	椎体骨折を契機に発症した脊柱変形に対する治療戦略			7	森平 泰	N, SS	4, 7	025
4	CPC による椎体形成術の適応基準	9	9	藤原 翔	N, SS	7	026	
	CPC (パイオベックス)を用いた経皮的椎弓根スクリーユー Augmentation			藤由 崇之				
5	ワンオペ脊椎外科医からの脱却を目指して ー世間はまだまだ速いー	19日	8:00～9:00	6	森 幹士	N, SS	7	052

ハンズオンセミナー

No.	セッションテーマ	日時	会場	講師
1	OLIF51™ 講習会	17日	15:15～17:15	竹本 充
2	頸椎人工椎間板 (Prestige LP™) 講習会	18日	9:30～10:30	田中 雅人
				三原 久範
3	頸椎人工椎間板講習会ハンズオンセミナー (Mobi-C)	19日	9:10～10:40	國府田 正雄 酒井 大輔

A.<認定単位種別（任意1分野まで）>

スポーツ単位 (S)
リウマチ単位 (R)
脊椎脊髄病単位 (SS)
運動器リハビリテーション単位 (Re)

B.<専門医必須14分野（必須2分野まで）>

- [1] 整形外科基礎科学
 - [2] 外傷性疾患（スポーツ障害を含む）
 - [3] 小児整形外科疾患（先天異常、骨系統疾患を含む、ただし外傷を除く）
 - [4] 代謝性骨疾患（骨粗鬆症を含む）
 - [5] 骨・軟部腫瘍
 - [6] リウマチ性疾患、感染症
 - [7] 脊椎・脊髄疾患
 - [8] 神経・筋疾患（末梢神経麻痺を含む）
 - [9] 肩甲帯・肩・肘関節疾患
 - [10] 手関節・手疾患（外傷を含む）
 - [11] 骨盤・股関節疾患
 - [12] 膝・足関節・足疾患
 - [13] リハビリテーション（理学療法、義肢装具を含む）
 - [14-1] 医療安全
 - [14-2] 感染対策
 - [14-3] 医療倫理
 - [14-4] 保険医療講習会、臨床研究/臨床試験講習会、医療事故検討会、医療法制講習会、医療経済（保険医療を含む）に関する講習会、地域医療/医療福祉制度に関する講習会
 - [14-5] 医学全般にわたる講演会などで、14-1～14-4に当てはまらないもの
- (14-1～4は機構認定専門医共通講習、14-1、2、3は機構認定専門医必修講習)
-